

「逆転の発想」

困難に直面した時には、逆転の発想をしてみよう。自分の立場ではなく、相手の立場に立って考え直す。攻めるだけでなく、退く。自己にとらわれず、大きな流れの中から結論を導き出す。そのような発想ができるよう、常に訓練しておこう。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

長雨で不安定な気候が続いていましたが、梅雨明けと共に暑い夏の気配がしてきました。今年は熱中症に加え、新型コロナウイルスの感染予防に努めながら水や泡に触れたり、ボディペインティングなど夏ならではの活動を行い、開放感を感じながら冷たさや心地よさを感じながら遊んでいます。

私たちは落ち込んだときや失敗したとき、越えられそうにない壁にぶつかったとき、今までの経験から判断したり自分の考えを押し通そうとしたり、不安や怖さから1つのことに固執してしまう事があります。しかし、広い視野で周りを観察し些細な変化や問題点を察知したり、相手の立場を想像し心を近づけることで今まで見えなかったものが見えてきます。物事の本質を見極め主観的ではなく冷静に、また多角的に考え、枠にとらわれない発想がピンチをチャンスに変えていくのだと思います。日頃から、多くの人の話を聞くことで様々な意見や捉え方があることを知ったり、発想を逆転し行き詰まりから抜け出せるようなひらめきを生み出す力を培うことが大切だと思います。

子どもたちの物事に対する常識や決まった考えにとらわれることのない、柔軟で斬新な遊びに驚かされることがあります。何かに気付いたり見立ててみようとする力や試してみたり自分の考えたことをやりぬく力を育めるよう、また子どもたちの出した答えを否定することなく認め自信へと繋げられるような保育を心がけていきたいと思っています。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子
職員一同

8月聖句
主はすぐ近くにおられます。

フィリピの信徒への手紙4章5節

8月主題

「ゆったりと」0歳

- ・神さまやまわりの人にまもられ、愛されていることを感じる。
- ・家族や保育者とゆったりと過ごす。
- ・自分の思いを保育者にこぼしてもらい、満たされる。

1・2歳

- ・神さまやまわりの人にまもられ、愛されていることを感じる。
- ・夏の生活を家族とゆったりと健康に過ごす。
- ・自分の思いをこぼして伝えようとする。

～子どもたちの姿～

梅雨も明け、ひまわりやマリーゴールドなど夏ならではの花が咲き始めてきました。

1・2歳児は今までの経験から包装紙を見ると破いたり丸めたり、時には服に見立て丸く開いた穴に頭を入れて「着れた」と得意げに見せてくれることもあります。0歳児も興味を持ち、細くなった紙の上をハイハイの速さを変えたり止まったりすることで、音や様子の違いに気付いたのか何度も振り返りながら自分なりに試しているようでした。段ボールを見つけた子どもたちは、糊を両手で伸ばしその紙をばらばらと散らせたり体重をのせ「アイロン～」と押えたり「こっちもまだだよ」と友達と貼っていない場所を探しながら一緒に貼り付け、その上を裸足で歩き感触を楽しんでいました。乳幼児期の感触遊びは発達の手台を育みます。様々な感触を体験を増やしていきたいと思っています。



	月	火	水	木	金	土	日
8月の予定表						1	2
	3	4	5	6 身体測定	7	8	9
	10 山の日	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20 避難訓練	21	22	23
	24 誕生日会	25	26	27	28	29	30
	31 クレイシュ通信						
	◎持ち物の名前を大きく見えやすい場所へ記入をお願いいたします。						